



自己流 星景写真 のテーマの決め方について

登壇者：かずー★ Twitter：isdmmmpic

お話しする内容

- 私が何故星景を撮っているのか（楽しみ）
- 撮影時に意識しているフローについて
- 実例紹介

まず・・・テーマって何？
そんなんわからへん。フィーリングや！
☆をバーンと撮ってドーンと絶景入れて・・・



まず・・・テーマって何？
そんなんわからへん。フィーリングや！
☆をバーンと撮ってドーンと絶景入れて

流石に怒られそう

私も分からないので、日々フローを整理しながら撮影しています



はじめに：私の撮影モチベーションについて

私が星景写真を好んで撮るのは、~~Twitterでバズってふぁぼを稼ぐ~~
星景で自身の星空風景に対する認識を表現するため

大学で天文部入部

何をしていたか：銀シ敷いてゴロゴロとか、運転？

ガチ勢に導入してもらった天体を見てスゲー、

→学術観測も、メシエマラソンもやらずに、星空を見に行っただけでゴロゴロしながら星を眺めてた

そのうち仲間に洗脳されてきた・・・

- ・秋に見るオリオンと春に見るオリオンってなんか雰囲気ちゃうよね
 - ・夏の大三角がもう上がってきてるやん？もう夏！？季節の移り変わりはえー※3月です
 - ・昔の人は星と神話を紐づけていてんな。暇やな。→でもこの星の並び面白いよな。わかる。
- とか。広く浅くいろんな星の魅力に取りつかれてきました

偶々家にデジカメがあったとか、レンズ沼にハマったとか。なんかバズったからとか色々省略しますが、上記の思いを記録できないかなと思い、星景を撮り続けています

本題：私なりの星景写真の楽しみ ～フロー別に楽しみを紹介～

1枚の星景写真が完成するまで ※①～④は順不同ですが、説明のため順番を置いています

ほぼ妄想なのでめちゃくちゃ楽しいし、いつでもできる

- | | | |
|-----------------|--|----------------------------------|
| ①着想 | 星野：天の川、黄道光、流星、星座、星の並び
風景：水面に反射する星、紅葉、独特の地形等 | 過去の星見や写真、妄想から |
| ②表現のイメージ増幅 | | 表現のため必要な要素、点像 or 流す等 |
| ③イメージに合う主役助役の探索 | | 主役は星野 or 景色 |
| ④撮影計画 | | ③の実現可能な季節時間、月、フィルタ等 |
| ⑤撮影 | | ③④との相違チェック→続行 or 見直し |
| ⑥現像 | | ③④⑤との相違チェック
→現像で②に近づける or 見直し |

①～④とのギャップが大きかったり、要件固めすぎて撮影に行きづらくなるデメリットある
→うまくいったら達成感めっちゃあります

1 例目：星と風景の季節表現

①着想

春の星景を撮りたい！（外に桜があった、等単純な理由）

②表現のイメージ

- ・この時期、夏の天の川が見え始めるから桜と合わせてみるか
- ・桜の開花＝春真っ盛りへ向かうイメージがあるので春の星座を日周運動させ時間経過表現使うぞ

③イメージに合う主役助役の探索

主役：天の川 助役：桜

主役：桜 助役：北斗七星の日周運動

④撮影計画 ⑤撮影

- ・天の川を目立たせるため、月のない時間に撮影
- ・桜に立体感をつけ堂々と立つ表現をしたい。→月明かりで桜に光を取り込ませ、咲き誇る様子を表現しよう。北斗七星は形が分かるくらいの時間で撮影

1 例目：星と風景の季節表現

⑥ 現像



・天の川の美しさを最大限に表現。ただし、春真っ盛りの表現の肝である桜を潰さないように



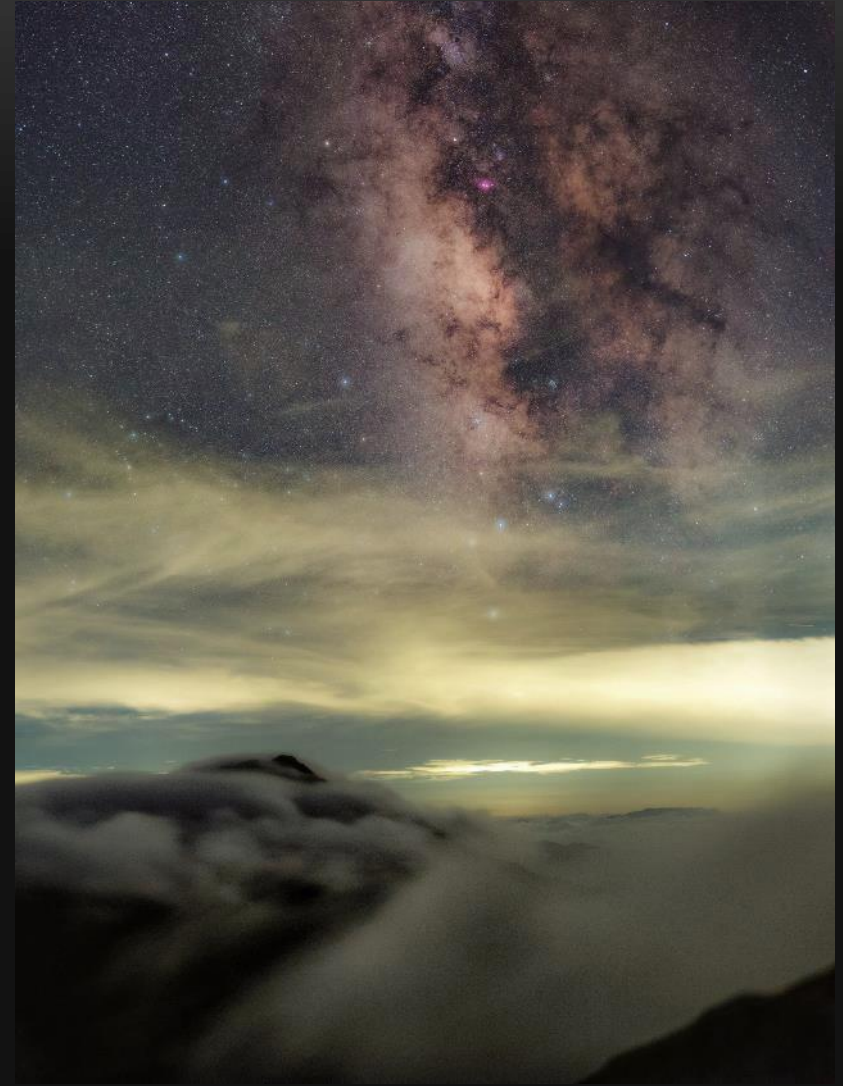
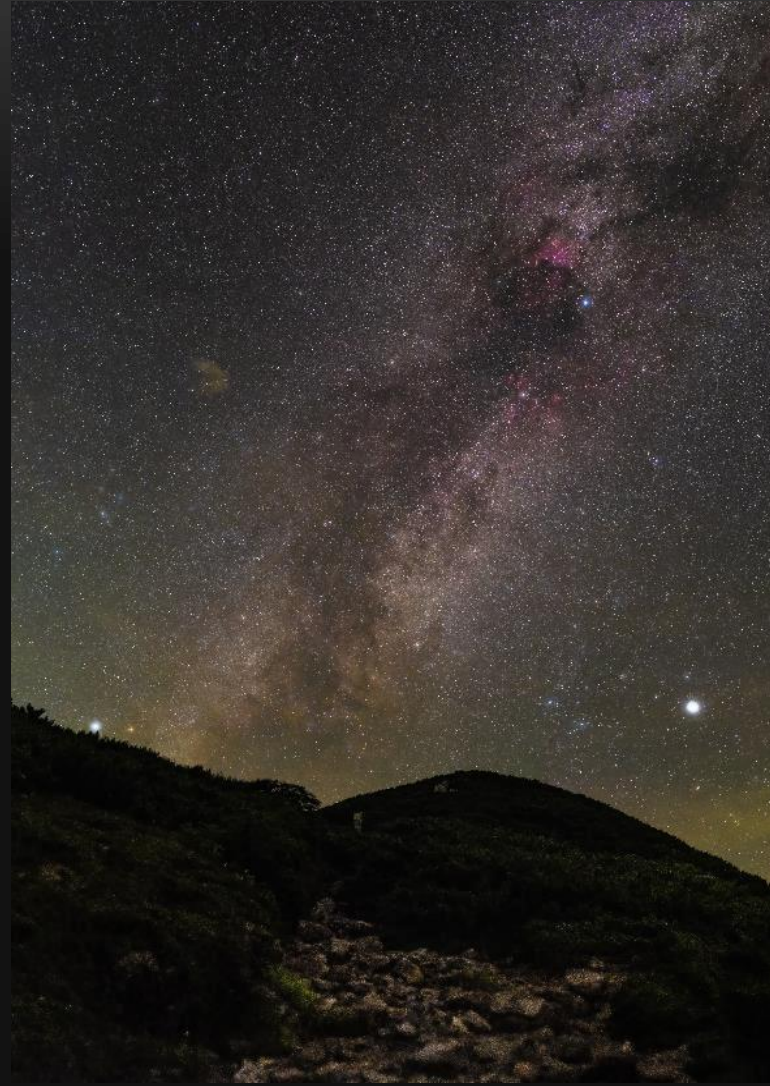
・桜が咲き誇る様子を表現するためコントラストを高めにかつ黒つぶれしないように現像。立体感を意識。北斗は添えるように

2例目：星と風景の融合表現

①着想

天の川、単体だと被写体力が強すぎる

天の川と滝や水面を合体させ、星野と風景を一つの表現にできないか



2例目：星と風景の融合表現

①着想

天の川、単体だと被写体力が強すぎる

天の川と滝や水面を合体させ、星野と風景を一つの表現にできないか

②表現のイメージ

- ・滝との合体
- ・海や雲海へ零れ落ちる

③イメージに合う主役助役の探索

主役：滝 助役：天の川

主役：天の川 助役：雲海

④撮影計画 ⑤撮影

- ・滝が主役：滝つぼまで見えるように撮影。天の川の濃い夏の大三角付近を流れ落ちる表現に使うため、西向きに日周運動させる
- ・天の川が主役：点像に止める。天の川とわかるように夏の大三角を選択

2例目：星と風景の融合表現

⑥現像

- ・輝度差が大きいためノイズに注意しながら暗部持ち上げ ←反省点：月が東側にある時期に撮影しよう
- ・天の川を、コントラスト高めに現像し、雲の海に流れ落とすイメージで現像



3例目：アステリズムを使った星景写真

①着想

オリオン座の形状、星座としてだけでなく
三ツ星も面白い形状してない？

他にもベラトリクスとサイフ隠したら
十字架ができたりしない？



3例目：アステリズムを使った星景写真

①着想

オリオン座の形状、星座としてだけでなく、三ツ星も面白い形状してない？

②表現のイメージ

・三ツ星を主役にできないか。何かの誘導線に使えないか（空を見上げるなど）

③イメージに合う主役助役の探索

主役：三ツ星 助役：適当な風景

主役：ゴジラみたいな岩 助役：三ツ星

④撮影計画 ⑤撮影

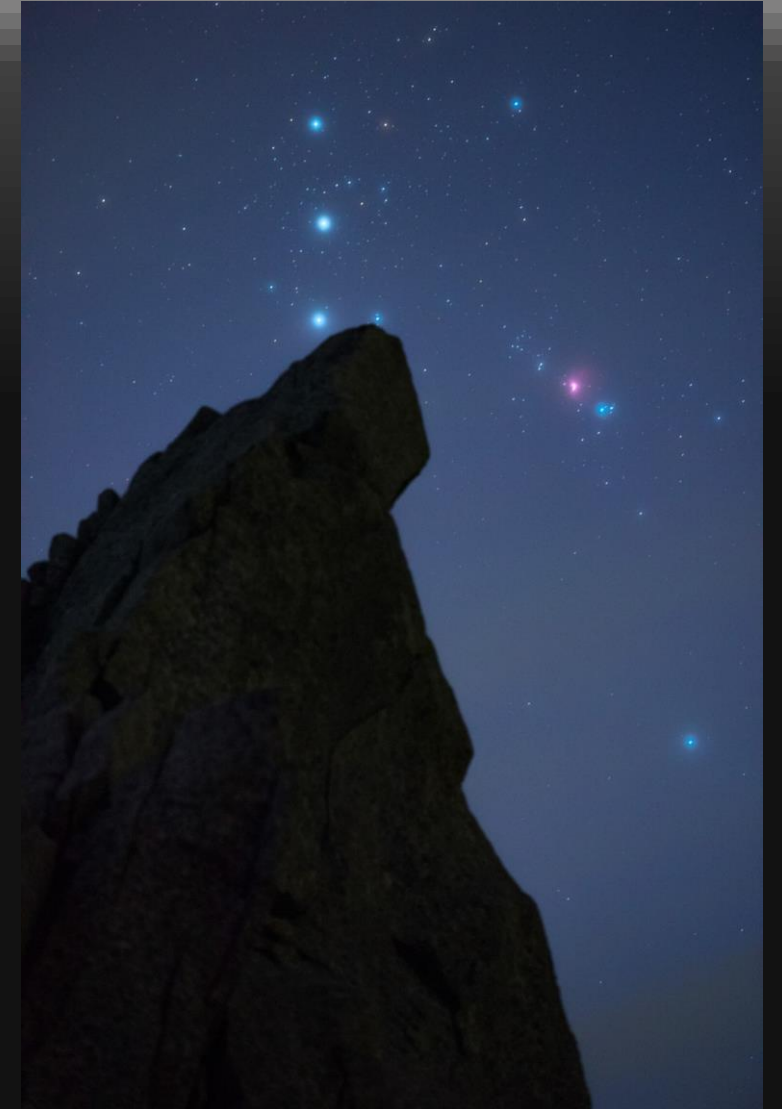
どちらも、昇ってくる三ツ星が狙い目。通い経験があり、星が昇ってくる位置を把握している場所がベスト
ない場合は、ステラナビゲータやアプリで時間検索（ステラナビゲータは画角シミュレートもできるのでお勧め）

3例目：アステリズムを使った星景写真

⑥現像



自身がその場において、上を見上げるイメージを持つように星の彩度高めで現像



ゴジラっぽい岩が星空を見上げているように見せるため、星の輝度高めに現像

アドリブ応用 星座に動きをつける

①着想

撮影地での即時判断：昇ってくるペガサス座の羽のあたりに月明かりに照らされた雲あり

②表現のイメージ ③イメージに合う主役助役の探索

雲が羽を広げたようになったタイミングでシャッターを切る

⑤撮影、⑥現像

雲を羽に見立て、飛翔する天馬を表現できた

※東向きなので、昇る表現として、日周運動の軌跡表現を使ってもよかったかも



引用AstroArts社HP

<https://www.astroarts.co.jp/special/2006autumn/constellation-j.shtml>

できるかわからない妄想シリーズ 神話の再現星景

①着想

ペルセ流での星景撮影後のフィードバック

せっかくオリオンと流星を狙うなら、流星=矢と見立て、アルテミスが最愛のオリオンを撃った逸話を使えないだろうか



②表現のイメージ

アルテミスがオリオンを撃ったのは海から頭を出していたとき
→頭を出しているオリオンに、流星が向かっている or 刺さる

③イメージに合う主役助役の探索

主役：流星（矢）、オリオン 助役 神話の状況説明のための海か雲海、月

④撮影計画

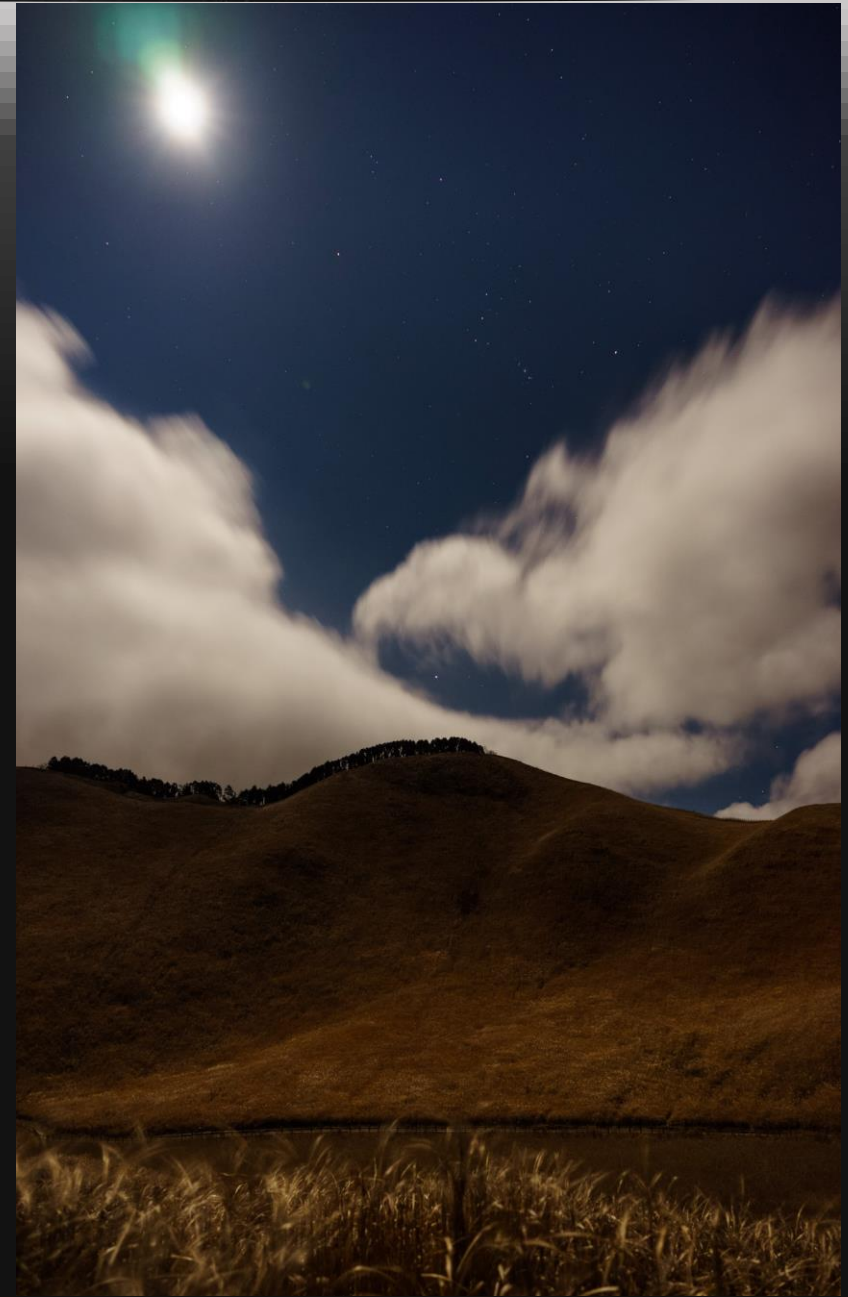
条件の中で最も難しいのが流星は、月がある年の流星群を狙う←何年に一回だろうか？
月がある状況で頭に向かって流れるか →ペルセ流：○、オリオン流：△、双子流：○

できるかわからない妄想シリーズ 神話の再現星景

過去、12月14日に月とオリオンと流星を撮ろうとした（失敗）

→月の存在感が大きすぎ？

→アルテミスのは解釈は、
矢があれば可能なので
月を排除して狙ってみる？



まとめ

星景は、自分なりのフローを意識することで、楽しみが増えると思います
(おまけに表現の幅や引き出しが増える気も)

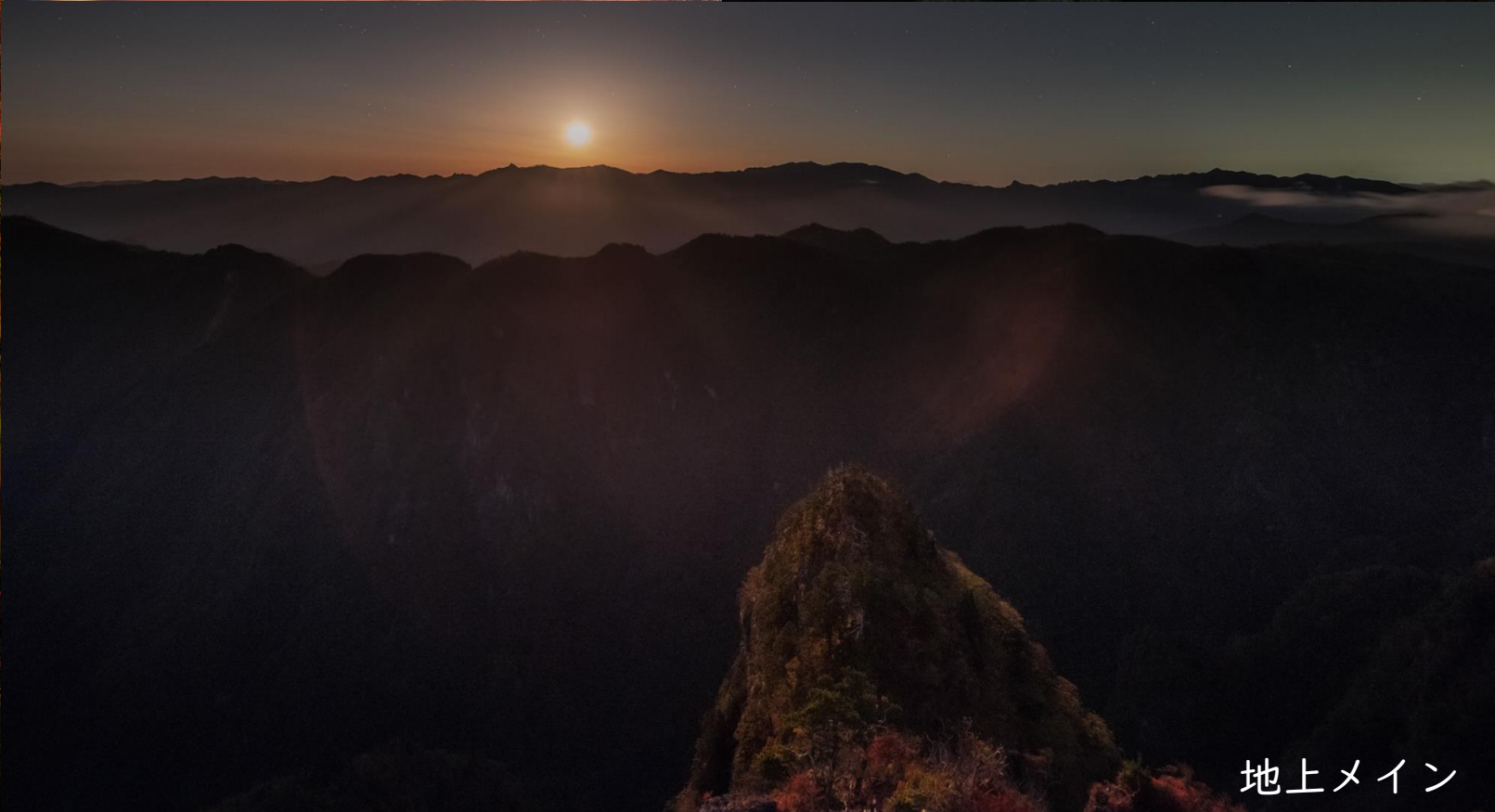
注意：このような撮り方をしている人の写真解説時を聞く際は、撮影者の願望が反映されている場合が多いので、見る人にとっては意味わからなくなる可能性があります

今後の予定（妄想リスト）

- ・南半球でヘルクレス座直立させて大地を駆け回らせたい
- ・奈良和歌山三重の三重県境にある朽ちた橋と日周運動合わせて時間経過表現したい

ご清聴ありがとうございました。

最後に、いくつかの写真と一緒にお別れの挨拶とさせていただきます



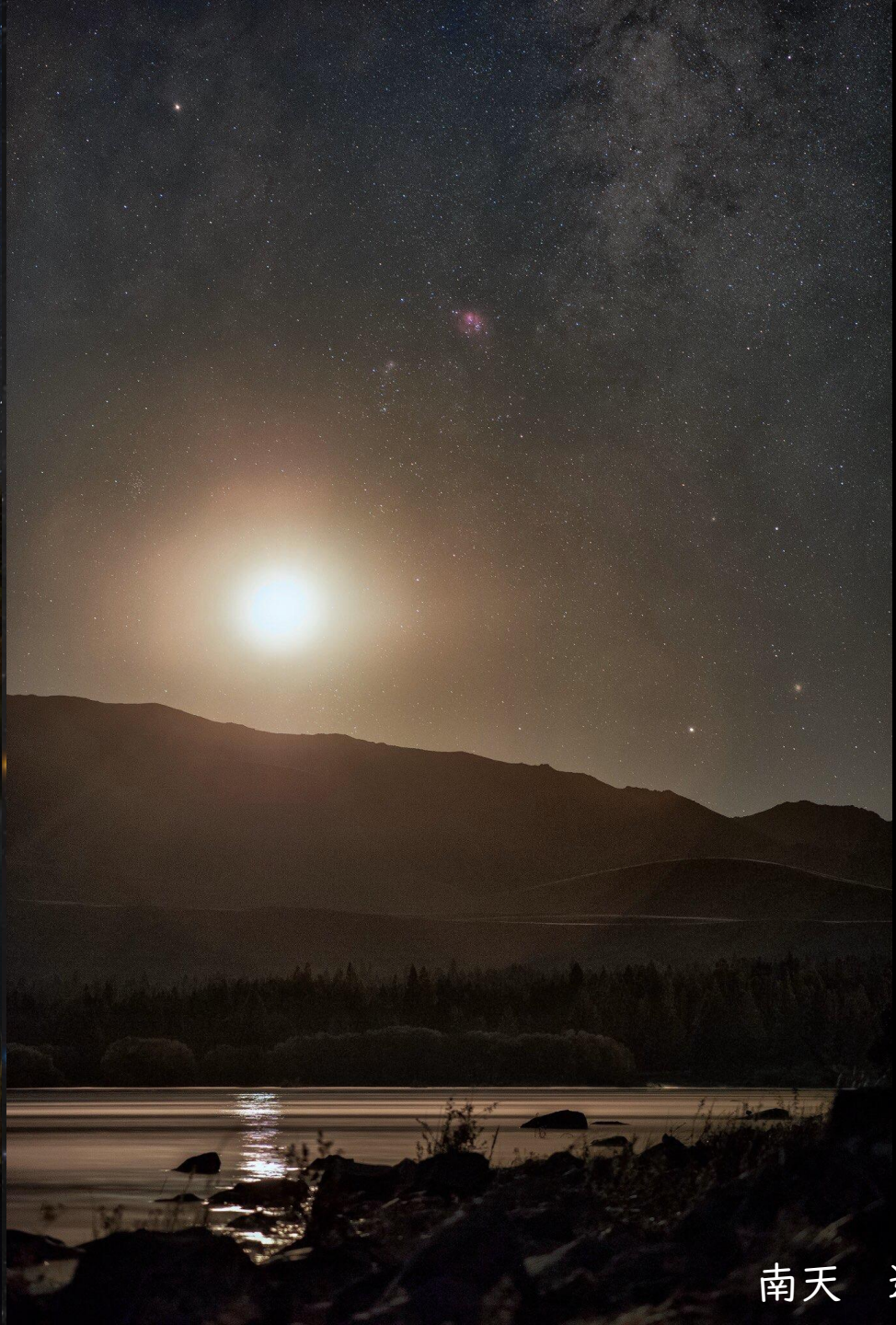
地上メイン











南天 逆さシリーズ



流星星景



没スライド：できるかわからない妄想シリーズ 明るい星が少ない星座を使った星景

①～④着想～撮影計画（単純なので割愛）

よく大学時代に行っていた星見スポットに鳩を掲げた銅像があるので、はと座と組み合わせて星景が撮れないか（めっちゃ単純）

⑤撮影

初めての挑戦のため、フィルタあり短秒、フィルタなし長秒の両方撮影



←はと座
あまりわからん
そもそもどこ？と
撮影者もなるなら
見る人はもっとわ
からん



←はと座
まったくわからん

⑥現像

左側を採用。しかし、はと座がわからない・・・

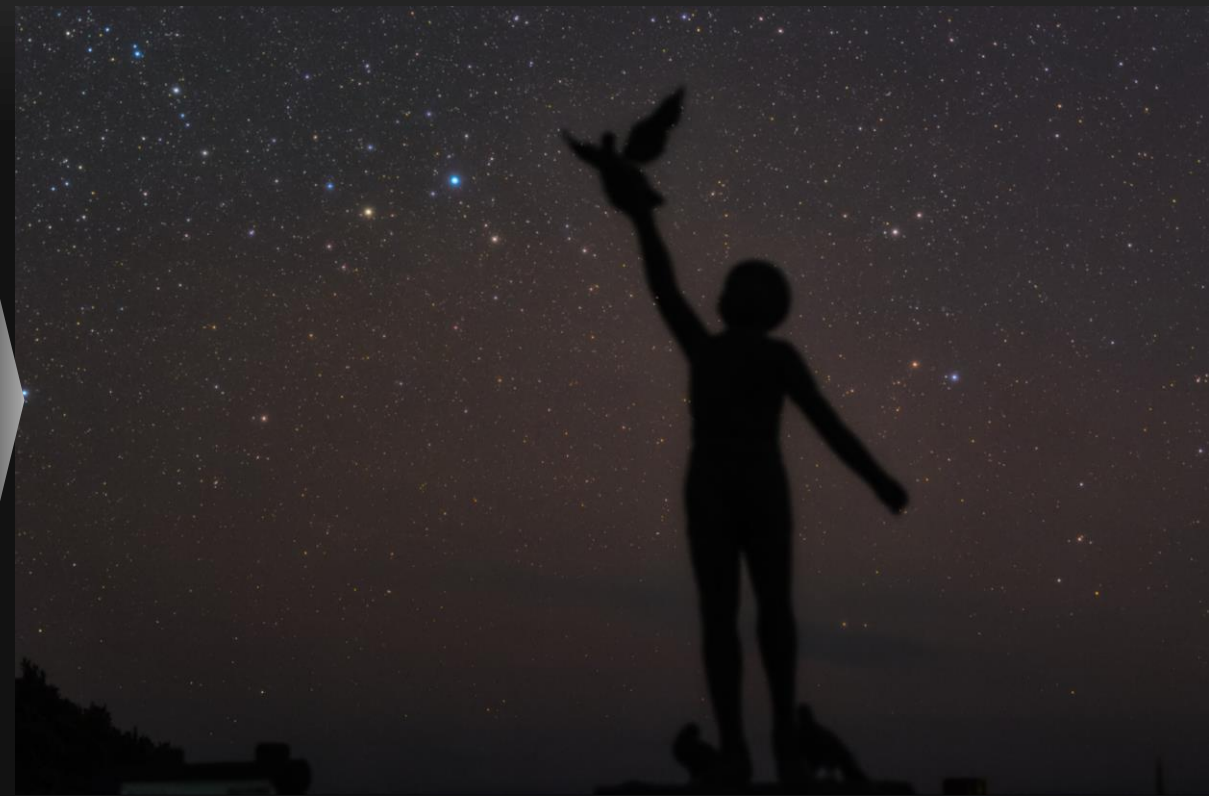
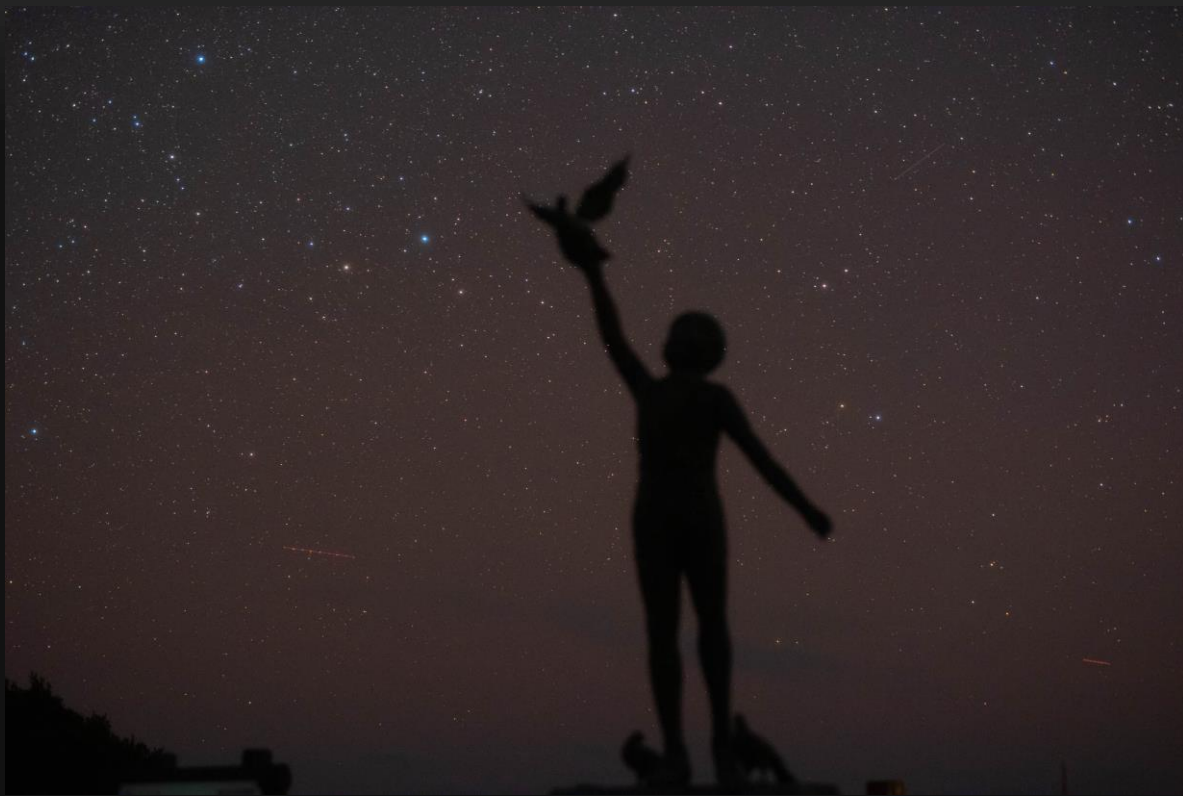
現像方針：目につく「はと座」以外の明るい星排除、
星に視線を持っていくために星の彩度UP

没スライド：できるかわからない妄想シリーズ 明るい星が少ない星座を使った星景

⑥現像

左側を採用。しかし、はと座がわからない・・・

現像方針：目につく「はと座」以外の明るい星排除、
星に視線を持っていくためにBGをグレー寄りにし、星の彩度UP

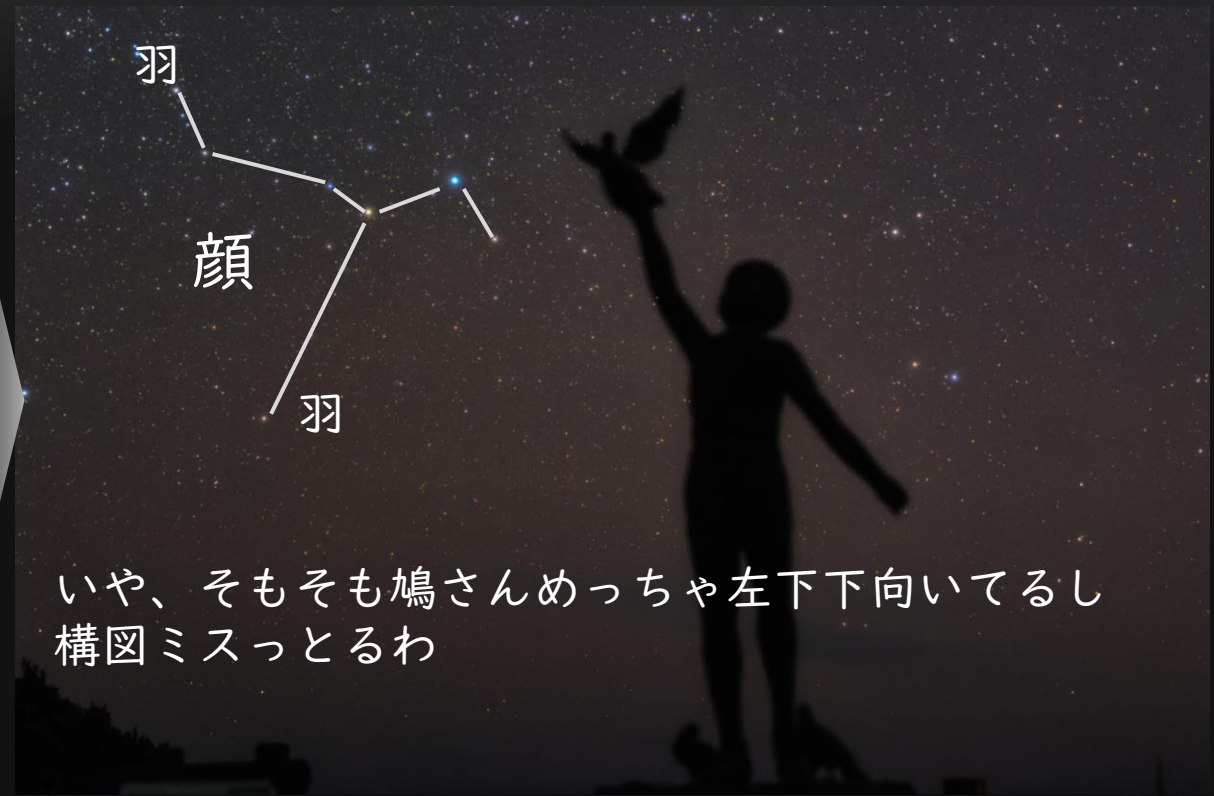
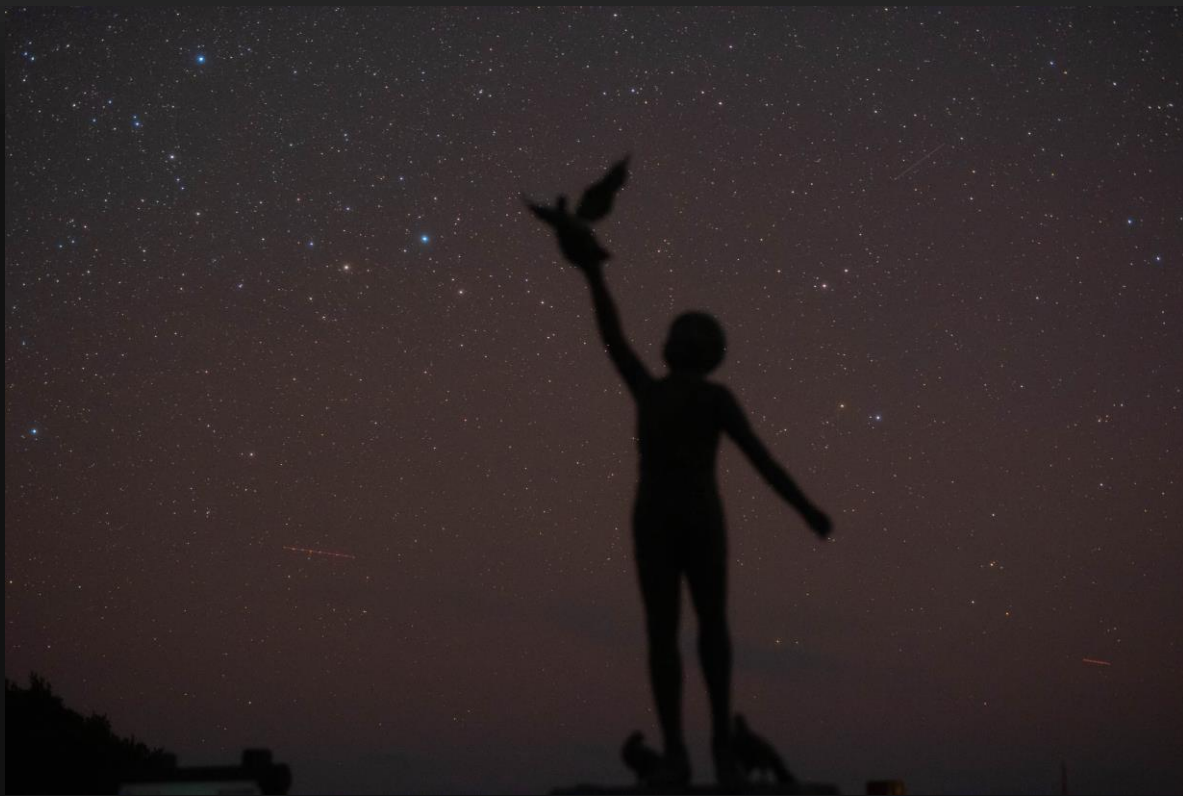


没スライド：できるかわからない妄想シリーズ 明るい星が少ない星座を使った星景

⑥現像

左側を採用。しかし、はと座がわからない・・・

現像方針：目につく「はと座」以外の明るい星排除、
星に視線を持っていくためにBGをグレー寄りにし、星の彩度UP



いや、そもそも鳩さんめっちゃ左下下向してるし
構図ミスっとるわ

あれ、厳しくね…？星座線入れるしかない？